

1

目指す姿（10年後）「安心・誇り・挑戦ひろしまビジョン」

全国トップレベルの高度・専門医療や最先端の医療を提供できる中核的な機能を整備し、県民に高い水準の医療が提供されている。また、こうした高度な医療や様々な症例の集積、医療機関との連携・協働を進め、魅力ある医療現場として若手医師に選ばれることで、新たな医師等の育成・派遣の拠点として、県全体の医療提供体制が確保されている。

2

広島県の医療提供体制の現状・課題（主なもの）

- がんと心疾患の死亡者数は漸増傾向**
広島県内の死亡者数（2009年 → 2018年）：
悪性新生物 7,749人→8,346人（108%）、心疾患 4,430人→5,039人（114%）
→ 最新の低侵襲治療の提供
- 無医地区数は、全国ワースト2位**
広島県内の無医地区数：2014年 54か所 → 2019年 59か所
→ 医師の偏在解消、総合診療医の育成
- 若手医師が減少**
広島県内の20～30歳代の病院勤務医師数の増減率：
2002年 → 2018年 88.5%（全国 107.5%・広島市 96.8%）
→ 症例集積による若手医師の誘引、医師のキャリア・アップと生活支援
- 救急搬送困難事象の割合が高い**
広島県の現場滞在時間30分以上の割合：7.5%
…政令市のある16都道府県のうち、ワースト5位
→ 医療資源の集約による救急患者応需率の向上
- 医師の働き方改革が迫る（2024年4月～）**
時間外勤務の年間上限時間：救急医療等は、1,860時間（暫定特別水準）
→ マンパワーの集約、タスクシフト・タスクシェアリングの普及
- 急性期病床は過剰、回復期病床は不足（地域医療構想）**
広島医療圏における2020年の病床数と2025年の必要病床数との差：
急性期 828床過剰、回復期 2,120床不足
→ 医療機関の機能分化・連携の促進

3

拠点に期待される役割

- 高度・急性期医療を担う基幹病院として、救急・小児・周産期・災害医療・感染症への対応など、県民の医療需要に応える。
- 広島都市圏を中心とした医療機能の分化・連携により、医療資源や様々な症例を集積することで、県民に高度な医療を提供する。
- 地域において核となる拠点病院への医療人材の供給・循環の仕組みを構築することにより、中山間地域の医療を守り、持続的な医療提供体制を確保する。

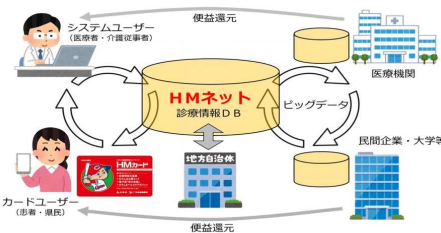


4

拠点に求められる高度医療機能

救急	救命救急センター ・ER及び救急応需率の向上により、救急搬送時の現場滞在時間を短縮 ・応需率を高めるため、マンパワーを集約 ・救命救命士等を活用したタスクシフトにより医師の負担を軽減 ・外傷センターを併設し、専門性の高い救急医療を提供 ・豊富な症例が経験できる施設として若手医師を誘引
小児	小児救命救急センター（中国地方初） ・PICU（小児集中治療室）6床以上を整備 ・小児循環器外科医を配置し、小児心臓手術に対応 ・一次救急から高次救急まで即応性が高い最善の救急医療を提供
周産期	総合周産期母子医療センター ・周産期医療体制の充実（市中医療機関との機能分化・連携） ・生殖医療の高度化
がん	がん治療センター ・がんの集学的治療、標準治療の症例集積（ハイボリュウムセンター） ・最新の低侵襲治療 ・薬物療法チーム、HIPRACと連携した放射線治療 ・緩和ケアチームの育成、がんゲノム診療
脳・心疾患	脳心臓血管センター、脳卒中センター ・患者の増加が見込まれる疾患に対応 慢性疾患を抱える患者への対応 ・慢性疾患の患者の増悪時に対応
精神	児童精神科 ・様々な要因で学校へ行けない児童・生徒や発達障害児への対応 精神科救急 ・自傷他害や複合疾患の救急患者への対応（個室や専門スタッフの配置）
感染症	新興感染症等の感染拡大に備えた体制 ・感染拡大に対応可能な病床等の確保（転用しやすい病棟・個室の確保） ・専門人材の育成・確保 ・感染防護具等の備蓄 ・院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針（BCP）の策定 ・医療機関間の連携・役割分担
災害	災害に備えた体制（災害拠点病院） ・南海トラフ巨大地震等を想定した医療体制の確保（耐震化、浸水対策等） ・医薬品、食料、水、燃料の備蓄 ・非常電源（自家発電装置）の確保 ・被災地の医療を確保するための広域的支援体制（DMATの派遣等）
DX	デジタル技術やデータの活用 ・HMネットを基盤としたデジタル技術の導入促進、診療情報の共有化 ・電子カルテの共有 ・オンライン診療の普及促進 ・集積された診療情報を治療研究・開発等に活用（高付加価値化）

【DXによる診療情報等の高付加価値化】



5

拠点に求められる人材育成・派遣機能

- キャリア支援センター（仮称）**
人事情報（ニーズ&シーズ）を集約・共有し、効率的なマッチングを支援するとともに、ライフステージに配慮しながら医師のキャリア形成を支援する体制が必要。
[スキルアップ支援]
魅力的な研修プログラム、ローテートによる幅広い臨床経験、専門医資格が取得しやすい環境、オンラインによる診療支援、学会活動・研究活動の支援
[生活支援]
ライフステージに配慮した勤務地、女性医師への支援、医師の働き方改革（タスクシフト、タスクシェアリング）
- 総合診療医の育成**
高齢者の増加により、全人的な視野で患者と地域を診ることができる総合診療医のニーズは高まっており、総合診療医の育成は急務。
【医師の人事交流～病院群ネットワークの中でローテート】



6

拠点の整備に向けて

- 県民に高い水準の医療を提供するとともに、県全体の医療体制の確保に向けた医師等の育成・交流の拠点として、医療資源の集約による、急性期医療を中心とする新たな病院の整備が必要である。

【新病院の概観】

規模	症例の集積効果が見込まれ、医師を惹きつけるインパクトがある病床として、 「1,000床程度」 が必要ではないか。
建設候補地	必要な病床数を確保するための建築面積、交通の利便性、南海トラフ巨大地震を想定した防災上の視点等から「 広島市東区二葉の里 」を建設候補地としてはどうか。

- 地域の医療機関全体で一つの病院のような機能を持ち、切れ目のない医療を効率的に提供する「地域完結型医療」を実現するため、機能分化と連携を進める必要がある。

【機能分化・連携の深化を検討する医療機関】

広島大学病院・県立広島病院・広島市民病院・安佐市民病院・舟入市民病院・広島赤十字・原爆病院・広島記念病院・吉島病院・マツダ病院・中電病院・JR広島病院・HIPRAC

※ 連携の趣旨に賛同する他の医療機関の参加を促す

政策医療を担う「県立広島病院」と交通便利性の高い場所に立地する「JR広島病院」の統合による新たな病院の整備を検討してはどうか。

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議の設置について

【目的】

広島都市圏における医療機能の分化・連携を推進することにより、県民に高い水準の医療を提供するとともに、医師等の育成・派遣による県全域の医療提供体制を確保することを目的とする。(拠点ビジョンの実現)

【参画機関】(17機関)

広島大学, 広島市立病院機構, 日本赤十字社, 国家公務員共済組合連合会, 医療法人JR広島病院, マツダ(株), 中国電力(株), 特定医療法人あかね会, 社会福祉法人恩賜財団済生会支部広島県済生会, 医療法人光臨会, 医療法人翠清会, 広島県病院協会, 広島県医師会, 広島市医師会, 広島県地域保健医療推進機構, 広島県, 広島市
※ 連携の趣旨に賛同する他の医療機関の参加を促す

【主な検討事項】

- (1) 医療機能の分化・連携の推進(役割分担と連携の仕組みなど)
- (2) 患者紹介・逆紹介の推進
- (3) 医療人材の育成・交流(研修体制の強化, キャリア支援の仕組みなど)
- (4) 連携体制のあり方検討(連携協定, 地域医療連携推進法人など)
- (5) 拠点ビジョンの実現に向けた基本構想等の検討

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 検討体制案

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議

【構成機関】(17機関21名)

広島大学, 広島市立病院機構, 日本赤十字社, 国家公務員共済組合連合会, 医療法人JR広島病院, マツダ(株), 中国電力(株), 特定医療法人あかね会, 社会福祉法人恩賜財団済生会支部広島県済生会, 医療法人光臨会, 医療法人翠清会, 広島県病院協会, 広島県医師会, 広島市医師会, 広島県地域保健医療推進機構, 広島県, 広島市

広島都市圏病院長会議

【構成機関】(19機関)

広島大学病院, 県立広島病院, 広島市民病院, 広島市立安佐市民病院, 広島市立舟入市民病院, 広島赤十字・原爆病院, 広島記念病院, 吉島病院, JR広島病院, マツダ病院, 中電病院, 土谷総合病院, 済生会広島病院, 荒木脳神経外科病院, 翠清会梶川病院, シムラ病院, HIPRAC, 広島県, 広島市

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議(分科会)

分野別分科会

分科会
(救急)

分科会
(小児)

分科会
(周産期)

分科会
(がん)

分科会
(脳血管疾患)

分科会
(心疾患)

分科会
(精神)

分科会
(感染症)

分科会
(災害)

分科会
(DX)

分科会
(地域医療)

【構成機関】

再編・連携対象病院(診療科長), 基幹病院(診療科長), 広島大学(診療科長), その他関係医療機関, 広島県, 広島市

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議 委員名簿

◎会長

氏 名	所 属 ・ 役 職
荒木 攻	医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 理事長
粟井 和夫	広島大学医学部 医学部長 公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター長
影本 正之	地方独立行政法人広島市立病院機構 副理事長
河本 昌志	医療法人JR広島病院 病院長
工藤 美樹	広島大学病院 病院長
外林 浩子	中国電力株式会社 執行役員 経営企画部門 グループ経営推進部長
土谷 治子	特定医療法人あかね会 土谷総合病院 理事長
檜谷 義美	一般社団法人広島県病院協会 会長
松本 公治	社会福祉法人恩賜財団 済生会広島病院 院長
◎松村 誠	一般社団法人広島県医師会 会長
三井 英夫	国家公務員共済組合連合会 病院部長
山本 匡	一般社団法人広島市医師会 会長
吉田 和久	マツダ株式会社 執行役員グローバル人事・安全・病院担当
若林 伸一	医療法人翠清会 翠清会梶川病院 理事長
渡部 洋一	日本赤十字社 医療事業推進本部長
岩崎 学	広島市健康福祉局 保健医療担当局長
浅原 利正	広島県 参与
平川 勝洋	広島県 病院事業管理者
木下 栄作	広島県健康福祉局 局長
福永 裕文	広島県健康福祉局 総括官（医療機能強化）
米田 一裕	広島県健康福祉局 総括官（医療介護）

（五十音順・敬称略）

高度医療・人材育成拠点ビジョン推進会議・分科会 検討スケジュール

項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
拠点ビジョン 推進会議		● 拠点ビジョン推進会議において各病院の役割分担等を協議	●		●	● 役割分担・連携方針 の具体化
分野別分科会		● 分野別分科会（11 分科会）において各病院の役割分担を協議	●	●	●	